

飼料用とうもろこし奨励品種「スノーデント125T（SH2821）」

宮城県畜産試験場

### 1 取り上げた理由

市販されている流通品種の特性把握を目的とした飼料作物優良品種選定調査試験を行った結果安定した成績を示す品種「スノーデント125T（SH2821）」が見いだされたことから、普及技術とする。

### 2 普及技術

- 1) 飼料用とうもろこしとして「スノーデント125T（SH2821）」を奨励する。
  - a 生育特性において、牧草・飼料作物優良品種選定ネットワーク推進会議（事務局：（独）農研機構東北農業研究センター）が定める標準品種の「32F27」と同等である（表1）。
  - b 耐倒伏性、ごま葉枯れ病抵抗性は、標準品種より優れる。
  - c 収量性において茎葉収量が標準品種より優れるが、雌穂収量はやや劣る（表2，表3）。
  - d 乾物のTDN収量については標準品種と同等である（表3）。
  - e 雌穂の特性等については標準品種と同等である（表4）。
  - f 耐病性等については標準品種と同等である（表5）。

主要な特性は下記のとおりである。

表1 主要な特性表

系統名	品種名	早晩性	メーカ-RM	収量性	耐倒伏性	ごま葉 枯れ病
SH2821	スノーデント125T	中生	125	◎	○	○

凡例：◎優れる ○普通

### 3 利活用の留意点

- 1) 栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本とすること。
- 2) 栽植本数は10a当たり6,500～7,000本とし、1本仕立てとする。
- 3) 試験は畜産試験場（大崎市岩出山）の試験ほ場で実施した。
- 4) 播種は5月上旬に行い、発芽の翌日から収穫期までの3ヶ年平均値を用いて検討を行った。また、評価に用いた成績は20本/区を3反復し得られたものである。
- 5) 参考として、各年次の試験において同時に供試した中生種の平均値も記載している。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場草地飼料部 電話0229-72-3101）

#### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 飼料作物・牧草適応品種の選定（平成24～26年度）
- 2) 参考データ

表2 生育特性

	発芽の良否	初期生育	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)
SH2821 3ヶ年平均	7.3	90.6	270.8	131.3
32F27(標準)3ヶ年平均	7.1	94.8	273.0	134.4
参考:H26中生(6種)平均	6.7	104.8	268.3	131.5
参考:H25中生(5種)平均	6.4	110.0	256.5	123.6
参考:H24中生(5種)平均	9.0	61.9	278.3	139.6

表3 生草収量等

	生草収量(kg/60本)			10a当たり生草収量			雌穂重 割合(%)	茎葉 乾物率 (%)	雌穂 乾物率 (%)	総体 乾物率 (%)
	総重	雌穂総重	生茎葉重	総重 (kg)	雌穂総重 (kg)	生茎葉重 (kg)				
SH2821 3ヶ年平均	23.8 ※	5.6	18.2 ※	7,549.4 ※	1,607.1 ※	5,942.3 ※	21.4 ※	19.4	45.1	25.6
32F27(標準)3ヶ年平均	20.9	5.9	15.0	6,636.1	1,814.2	4,821.9	27.4	19.6	49.7	28.1
参考:H26中生(6種)平均	23.4	5.2	18.1	7,663.2	1,408.0	6,255.2	18.4	17.6	39.7	22.6
参考:H25中生(5種)平均	20.9	5.0	15.9	6,632.4	1,566.3	5,066.0	23.9	20.0	49.0	26.9
参考:H24中生(5種)平均	20.9	5.3	15.5	6,835.8	1,748.0	5,087.7	25.8	21.5	54.0	30.0

※P<0.05(標準品種対比)

表4 乾物収量等

	乾物収量(kg/60本)			10a当たり乾物収量			乾雌穂 割合(%)	TDN収量 (kg/10a) (注)
	総重	雌穂総重	茎葉重	総重 (kg)	雌穂総重 (kg)	茎葉重 (kg)		
SH2821 3ヶ年平均	6.0	2.6	3.5	1,917.9	735.5	1,141.4	37.8	1,242.3
32F27(標準)3ヶ年平均	5.9	2.9	2.9	1,863.7	906.4	943.4	48.3	1,271.5
参考:H26中生(6種)平均	5.2	2.1	3.2	1,717.2	561.7	1,089.9	32.5	1,071.0
参考:H25中生(5種)平均	5.6	2.4	3.2	1,778.4	768.1	1,008.2	43.4	1,194.4
参考:H24中生(5種)平均	6.2	2.9	3.3	2,042.0	949.2	1,093.3	46.2	1,390.5

注: 推定式により算出。推定TDN量 = 乾物茎葉重 × 0.56 + 乾物雌穂重 × 0.82

表5 雌穂

	調査個体 (本)	無雌穂個体 (本)	無雌穂個 体割合(%)	無効雌穂 数(本)	先端不稔 (本)	有効雌穂数 (本)	秤量雌穂 総数(本)	無効雌穂 割合(%)	先端不稔 割合(%)	有効雌穂割合 (先端不稔を含む) (%)
SH2821 3ヶ年平均	22	0	0.0	4	4	15	22	14.1 ※	19.0 ※	85.9 ※
32F27(標準)3ヶ年平均	21	0	0.0	1	2	18	21	3.7	8.8	96.3
参考:H26中生(6種)平均	25	0	0.4	5	2	18	25	18.9	6.5	81.1
参考:H25中生(5種)平均	20	0	0.0	1	4	15	20	6.1	17.8	93.9
参考:H24中生(5種)平均	20	0	0.0	0	0	20	20	0.4	0.0	99.6

※P<0.05(標準品種対比)

表6 耐病性等

	無1～甚9		罹病個体数(本)					罹病個体の全個体に占める割合(%)				
	ごま葉枯	すす紋	黒穂	根腐	紋枯れ	その他 (すじ萎縮、 モザイク)	アワノメイガ	その他 (イネヨトウなど)	根腐 (罹病個体/刈取本数)		紋枯れ	アワノメイガ
SH2821 3ヶ年平均	3	2	0	1	38	0	5	0	2.5		49.7	7.0
32F27(標準)3ヶ年平均	3	2	0	1	38	0	5	0	1.7		48.2	6.5
参考:H26中生(6種)平均	2	2	0	1	30	0	6	0	2.8		38.7	7.3
参考:H25中生(5種)平均	2	2	0	0	43	0	5	0	0.0		54.1	6.9
参考:H24中生(5種)平均	6	2	0	2	45	0	2	0	7.5		57.3	2.5

- 3) 発表論文等 なし

- 4) 共同研究機関 (独) 農研機構 東北農業研究センター, 東北地方各県